

10:52 受

1/1

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18984報)

平成30年12月5日10時45分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>本日、1号機遠隔操作設備設置工事に従事し、その後構外作業場に移動していた協力企業作業員が体調不良を訴えたため、協力企業が9時30分に救急車を要請したとの報告を受けました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生時刻 9時30分頃 ・発生場所 発電所構外 ・体調不良者の所属 協力企業作業員 ・身体汚染の有無 なし ・発生状況 作業終了後、構外作業場に向かう際、体調不良を訴えた。 <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

11:48 受

1/3

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18985報)

平成30年12月5日11時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第12993報他でお知らせした、地下貯水槽周辺の観測孔において全ベータ放射能が上昇した事象、及び第13274報他でお知らせした、地下貯水槽i南西側及び北東側の漏えい検知孔水において全ベータ放射能が上昇した事象について、下記のとおり水の分析を実施しましたので、お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下貯水槽観測孔 分析結果 [採取日 12月4日] 地下水バイパス(調査孔)、海側観測孔 分析結果 [採取日 12月3日] <p>今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。</p> <p>引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。</p> <p>【公表区分：D統】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2/3

2018年12月5日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽観測孔 分析結果(2018年12月4日分)

地下貯水槽観測孔(i~iii)												
	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	A11	A12
採取時刻	8:15				8:09				8:04			
全ベータ(Bq/L)	ND(22)				ND(22)				ND(22)			

地下貯水槽観測孔(i~iii)										地下貯水槽観測孔(vi)		
	A13	A14	A15	A16	A17	A18	A19	B1	B2	B3		
採取時刻	7:58				7:52							
全ベータ(Bq/L)	ND(22)				ND(22)							

(注)NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

3/3

2018年12月5日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下水バイパス(調査孔)、海側観測孔 分析結果(2018年12月3日分)

	地下水バイパス 調査孔			海側観測孔							
	a	b	c	①	②	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
採取時刻	/	8:18	8:38	8:54	8:00	/	9:10	/	/	/	
全ベータ(Bq/L)	/	31	ND(20)	37	38	/	ND(20)	/	/	/	
トリチウム(Bq/L)	/	41	43	50	120	/	24	/	/	/	

半減期 トリチウム:約12年

* トリチウム以外のデータは12月4日にお知らせ済み。

(注)NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

11=48 受

1/2

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18986報)

平成30年12月5日11時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。 ・福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果 [採取日 12月3日] 今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。 【公表区分：その他】
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2/2

2018年12月5日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果

単位:Bq/L

	1号機放水路立坑水		2号機放水路立坑水	
	上流側	下流側	上流側	下流側
採取日	12月3日	12月3日	12月3日	12月3日
採取時刻	9:46	9:22	9:35	9:25
Cs-134(約2年)	220	64	110	ND(8.7)
Cs-137(約30年)	2,200	710	1,200	69
全β	2,700	2,400	1,600	170
H-3(約12年)	210	210	ND(130)	230

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

15:26受

1/1

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第18987報)

平成30年12月5日15時10分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第18983報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクDに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 10時08分 ・排水終了 : 12時33分 ・排水量 : 359m³ <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

15=26 後

1/8

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18988報)

平成30年12月5日15時10分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [12月5日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 12月4日] ・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 12月4日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 11月30日、12月4日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 12月4日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、12月6日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果 [採取日 11月29日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/8

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2018年12月5日 11:00 現在

(脚注事項)
 計測値については、地震やその他の事象直後の影響を受けて、通常の運用回復
 時計測値に異なるものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存
 在している。プラントの状態を把握するために、このよう計測値の不確かさを考
 慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を活用して変化の傾向にも留意し
 て総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (12/5 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (12/5 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (12/5 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1) : 20.3°C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1) : 20.2°C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2) : 20.2°C (12/5 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3) : 26.1°C RPV温度 (TE-2-3-69R) : 24.1°C (12/5 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1) : 25.7°C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1) : 24.2°C (12/5 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A) : 20.5°C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F) : 20.2°C (12/5 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B) : 26.5°C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH-2-16B (TE-16-114G#1) : 26.2°C (12/5 11:00 現在)	格納容器空筒換気空気温度 (TE-16-114A) : 25.7°C 格納容器空筒換気供給空気温度 (TE-16-114F#1) : 23.7°C (12/5 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.44kPa _g (12/5 11:00 現在)	2.68kPa _g (12/5 11:00 現在)	0.36kPa _g (12/5 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH) : 14.07Nm ³ /h (JP-A) : 14.54Nm ³ /h (JP-B) : -Nm ³ /h PCV : -Nm ³ /h (12/5 11:00 現在)	RPV : 11.64Nm ³ /h PCV : -Nm ³ /h (12/5 11:00 現在)	RPV : 16.93Nm ³ /h PCV : -Nm ³ /h (12/5 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.0m ³ /h (12/5 11:00 現在)	12.43Nm ³ /h (12/5 11:00 現在)	19.20Nm ³ /h (12/5 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 水蒸気濃度 ※1	A系：0.01vol% B系：0.00vol% (12/5 11:00 現在)	A系：vol% B系：0.05vol% (12/5 11:00 現在)	A系：0.06vol% B系：0.06vol% (12/5 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系：指示値 1.28E-03 検出限界値 4.00E-04 Ba/cm B系：指示値 1.20E-03 検出限界値 3.40E-04 Ba/cm (12/5 11:00 現在)	A系：指示値 - 検出限界値 - ND B系：指示値 - 検出限界値 1.4E-01 Ba/cm (12/5 11:00 現在)	A系：指示値 ND 検出限界値 2.3E-01 Ba/cm B系：指示値 ND 検出限界値 2.3E-01 Ba/cm (12/5 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	29.8°C (12/5 11:00 現在)	31.0°C (12/5 11:00 現在)	28.4°C (12/2 11:00 現在)	18.7°C (12/5 11:00 現在)
FPC 及び シカ 水位	3.80m (12/5 11:00 現在)	3.35m (12/5 11:00 現在)	2.99m (12/2 11:00 現在)	44.96X100mm (12/5 11:00 現在)

(計測値に関する情報)
 ※1：格納容器がマイナスの場合は0.00%と記載する。(0.00%未満の場合は、計測精度によりマイナス表示される場合があるため)
 原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度を記載する。
 ※2：格納容器が検出限界値未満の場合はNDと記載する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度を記載する。
 ※3：使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。
 ※4：窒素封入率100%
 ※5：3号機格納容器燃料プール格納容器系停止中のため、3号機格納容器燃料プール水位とFPC水位に関しては至近の予-9を記載。なお、停止期間終了(12/14 17時)時点の使用済燃料プール水位は約36.2°C程度と推定。
 ※6：作業に伴い予-9欠測

3/8

2018年12月5日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

1-131(Bq/L)

Table with columns for date (11/18 to 12/4) and rows for measurement locations (Cs-134) showing Bq/L values.

Cs-134 (Bq/L)

Table with columns for date (11/18 to 12/4) and rows for measurement locations (Cs-137) showing Bq/L values.

Cs-137 (Bq/L)

Table with columns for date (11/18 to 12/4) and rows for measurement locations (Cs-137) showing Bq/L values.

- <測定箇所>
①4号1/8建屋南東
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤焼固体廃棄物減容処理施設南
⑥サイトハンガ建屋南西
⑦焼却工作建屋 西側
⑧焼固体廃棄物減容処理施設北
⑨サイトハンガ建屋南東

※f-1はサンプリング測定を実施していないことを示す。
※①は②が採取不可となったため、地下水流の上流側として測定し、選1層程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※②は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/26~)
※③を塩水で測定(2011/5/30~)
※④を塩水で測定(2011/5/30~)
※⑤は検出限界未満を示し、()内に検出限界値を示す。

2018年12月5日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

採取日	A排水路				物揚場排水路					
	11月30日	12月1日	12月2日	12月3日	12月4日	11月30日	12月1日	12月2日	12月3日	12月4日
採取時刻	8:06	7:30	8:30	8:10	8:19	8:10	7:35	8:35	8:15	8:23
降雨量(mm/日)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
流量(m ³ /秒)	解折中	解折中	解折中	解折中	解折中	解折中	解折中	解折中	解折中	解折中
Cs-134(約2年)	0.69	ND(0.54)	ND(0.63)	ND(0.60)	ND(0.52)	ND(0.61)	ND(0.78)	ND(0.73)	ND(0.48)	ND(0.56)
Cs-137(約30年)	6.8	6.6	5.5	6.1	4.4	2.0	1.6	2.1	1.9	2.1
全β	14	12	11	11	7.8	4.4	ND(3.3)	4.2	ND(3.3)	4.4
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

単位: Bq/L

採取日	K排水路				BC排水路					
	11月30日	12月1日	12月2日	12月3日	12月4日	11月30日	12月1日	12月2日	12月3日	12月4日
採取時刻	6:00	6:46	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00
降雨量(mm/日)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
流量(m ³ /秒)	解折中	解折中	解折中	解折中	解折中	解折中	解折中	解折中	解折中	解折中
Cs-134(約2年)	ND(0.91)	ND(0.84)	ND(0.88)	ND(0.84)	ND(0.93)	ND(0.57)	ND(0.61)	ND(0.63)	ND(0.56)	ND(0.51)
Cs-137(約30年)	6.4	4.5	4.9	4.5	9.3	ND(0.78)	ND(0.78)	ND(0.80)	ND(0.73)	ND(0.88)
全β	12	6.3	13	7.9	9.4	ND(3.4)	ND(3.6)	ND(3.6)	ND(3.0)	5.8
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

* 本枠内が今回公表データ。他は12月4日までにお知らせ済み。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

4/8

6/8

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(注)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻							12月4日 7:17	12月4日 7:49	12月4日 7:51		12月4日 8:04	12月4日 7:25	12月4日 8:19	12月4日 7:12	12月4日 7:33
塩素(単位: ppm)							ND(0.35)	1,500	150		ND(0.36)	4.2	ND(0.32)	9.4	ND(0.38)
Cs-134(約2年)							ND(0.43)	17,000	1,600		0.66	55	0.82	110*1	ND(0.42)
Cs-137(約30年)							ND	22	ND		ND	ND	ND	ND	ND
その他															
全β							21,000	130,000	10,000		ND(14)	250	27,000	19,000	44,000
H-3(約12年)							分析中	分析中	分析中		分析中	分析中	分析中	分析中	分析中
Sr-90(約29年)							分析中	分析中	分析中		分析中	分析中	分析中	分析中	分析中

採取日	12号機 ウェルポイント 汲み上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(注)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	2号機 ウェルポイント 汲み上げ水	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(注)	3号機 ウェルポイント 汲み上げ水
採取時刻	12月4日 7:36														
塩素(単位: ppm)															
Cs-134(約2年)															
Cs-137(約30年)															
その他															
全β															
H-3(約12年)															
Sr-90(約29年)															

* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。

(注) No.1-9、2-5、3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてろ過後に測定。

* 1 過去最高値(「福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果」およびその関連の参考資料で過去に示した値との比較)

7/8

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(3/3)海水

単位: Bq/L

採取日	福島第一5.6号機放水口北側(T-1)	福島第一6号機取水口前	福島第一物橋前	福島第一1~4号機取水口内北側(東浜線北側)	福島第一1号機取水口(遮水壁前)	福島第一2号機取水口(遮水壁前)	福島第一1~4号機取水口内南側(遮水壁前)	福島第一南放水口付近(T-2)	福島第一港湾口	福島第一港湾内東側	告示濃度限度	WHO飲料水水質ガイドライン
採取日	12月4日	12月4日	12月4日	12月4日	12月4日	12月4日	12月4日	12月4日	12月4日	12月4日		
採取時刻	8:05	7:50	7:10	7:43	7:35	7:25	6:55	6:55	6:19	6:17		
Cs-134(約2年)	ND(0.44)	ND(0.65)	ND(0.60)	0.50	ND(0.80)	ND(1.0)	ND(0.53)	ND(0.53)	ND(0.56)	ND(0.26)	60	10
Cs-137(約30年)	0.50	0.79	3.8	4.9	5.2	5.0	ND(0.44)	ND(0.44)	1.3	1.3	90	10
全β	ND(17)	ND(17)	ND(17)	ND(17)	ND(17)	ND(17)	13	13	ND(16)	ND(17)		
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60,000	10,000
Sr-90(約29年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	10

単位: Bq/L

採取日	福島第一港湾内西側	福島第一港湾内北側	福島第一港湾内南側	福島第一北防波堤北側(T-0-1)	福島第一港湾口北東側(T-0-1A)	福島第一港湾口東側(T-0-2)	福島第一港湾口南東側(T-0-3A)	福島第一南防波堤南側(T-0-3)	告示濃度限度	WHO飲料水水質ガイドライン
採取日	12月4日	12月4日	12月4日	12月4日	12月4日	12月4日	12月4日	12月4日		
採取時刻	6:15	6:13	6:21	7:07						
Cs-134(約2年)	ND(0.38)	ND(0.21)	ND(0.34)	ND(0.42)					60	10
Cs-137(約30年)	1.1	0.51	1.4	0.67					90	10
全β	ND(17)	ND(17)	ND(17)	18					60,000	10,000
H-3(約12年)	-	-	-	-					30	10
Sr-90(約29年)	-	-	-	-						

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度(別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

8/8

2018年12月5日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果

単位: Bq/L

	Gr1(グループ1)		運用目標	※1 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取日	2018年11月29日	2018年11月29日			
採取時刻	8:45	8:45			
貯水量 [m ³]	2,110	2,110			
セシウム134	ND(0.44)	ND(0.52)	1	60	10
セシウム137	ND(0.75)	ND(0.53)	1	90	10
その他ガンマ核種	検出なし	検出なし	検出されないこと		
全ベータ	ND(0.70)	ND(0.50)	5(1)(注)		
トリチウム	120	120	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 日本分析センター

* NDは検出限界値未満を表し、() 内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度 [本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1 Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

16:36 受

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18989報)

平成30年12月5日16時30分	
内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿	
第25条報告	報告者名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 原子力防災管理者 磯貝 智彦 連絡先 0240-30-9301
原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。	
原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	平成23年3月11日 16時36分 (24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	(対応日時, 対応の概要) 第18984報でお知らせした、福島第一原子力発電所構外で発生した協力企業作業員の体調不良について、その後の状況をお知らせします。 いわき市立総合磐城共立病院にて医師の診察を受けた結果、個人の疾病であり、検査入院をすることになりました。 なお、病名等については、個人情報であることから公表を控えさせていただきます。 【公表区分：E統】
	※添付の有・ <input checked="" type="radio"/> 無
その他の事項の対応 (注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。